

1) 研究課題名：婦人科悪性腫瘍の術後におけるリンパ浮腫重症度と QOL に関する臨床病理学的検討

2) 研究目的と意義：

婦人科悪性腫瘍の治療については、骨盤内リンパ節郭清を含む手術療法が中心的な役割を果たしていますが、その約 2～3 割程度で下肢リンパ浮腫を生じると報告されています。また、下肢リンパ浮腫は一旦発症すると治癒困難となる慢性疾患であり、QOL を損ねる疾患でもありますが、発症の予防や治療的介入の有効性に関する情報は乏しいのが現状です。

このような背景を踏まえ、本研究では、婦人科悪性腫瘍治療後にリンパ浮腫を発症した患者さんについて、その手術方法や手術結果、その後の治療や年齢、病気の進み具合等の様々な情報と、リンパ浮腫の重症度や質問票を用いた生活の質の評価結果等との関連性を検討することとし、これにより、術後早期の段階からリンパ浮腫の重症化や QOL 悪化のリスク因子を有する患者を同定することに役立てることが本研究の趣旨です。

3) 研究方法

現在までに当院にてリンパ浮腫として診断・治療を受けていただいた患者さんの診療録から、研究解析に必要な情報を提供していただきます。提供をお願いするデータは患者背景（年齢、体重など）、手術術式、手術所見、術後治療内容、リンパ浮腫の時の四肢の太さ、アンケート回答結果などです。

4) 研究機関

名古屋大学医学部産婦人科

5) 問い合わせ・苦情の受付先

○問い合わせ先

名古屋大学 医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター 病院助教 芳川修久
(電話 052-744-2261、ファックス 052-744-2268)

○苦情の受付先

名古屋大学医学部経営企画課：(052-744-2479)